

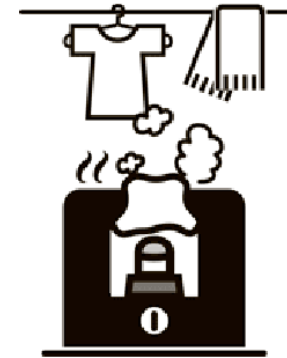
広報とやま 令和2年(2020年)12月5日号掲載

くらしの情報あれこれ

石油ストーブによる火災や事故を防ぎましょう。

【事例】

- 締め切った寝室で石油ストーブを付けたまま就寝したところ、酸素が不足して不完全燃焼が起き、一酸化炭素中毒で死亡した。
- 石油ストーブの火を消さずに給油したところ、灯油がこぼれ、ストーブの火が引火し火災が発生した。
- 石油ストーブの上に干していた洗濯物が落下して火災が発生した。



【アドバイス】

- 石油ストーブを使用する際は、こまめに換気をしましょう。
- 給油する際は必ず火を消してください。また、カートリッジタンクのふたが完全に閉まっているか確認しましょう。
- ストーブの上で洗濯物を乾かさないでください。乾燥して軽くなった洗濯物は、上昇気流にあおられてストーブに落下する危険性があります。

相談受付時間 (土) (日) (祝) を含む毎日10:00~18:30 (年末年始およびCiC休館日は除く)

お問い合わせ 消費生活センター 電話:443-2047